

平成24年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	麻薬等対策推進費（広報経費）		担当部局庁	医薬食品局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	①昭和63年度 ②昭和37年度 ③昭和62年度 ④平成18年度		担当課室	監視指導・麻薬対策課		課長 中井川 誠		
会計区分	一般会計		施策名	第三次薬物乱用防止五か年戦略 (平成20年8月22日薬物乱用対策推進本部決定)				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	<ul style="list-style-type: none"> ・薬物乱用防止対策事業の実施について (平成11年7月9日医薬発第835号) ・新国連薬物乱用根絶宣言 ・「ダメ。ゼッタイ。」普及運動実施要綱 ・麻薬・覚せい剤乱用防止運動実施要綱 ・薬物乱用防止教育の充実について (平成20年9月17日20文科ス第639号) 				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	別紙のとおり							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	別紙のとおり							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算の状況	当初予算	170	148	124	107	117	
		補正予算						
		繰越し等						
		計	170	148	124	107	117	
	執行額	137	107	115				
	執行率(%)	81%	72%	92%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	本事業は、国民への啓発及び再乱用防止対策を通じて薬物乱用の根絶を図ることを目的としており、成果について定量的に示すことはできない		成果実績	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	(別紙のとおり)		活動実績 (当初見込み)	(別紙のとおり)				
単位当たりコスト	(別紙のとおり)		算出根拠	(別紙のとおり)				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	庁費	2.3	2.3	違法ドラッグ乱用防止を目的とした啓発活動経費の増 民間団体向け委託費について、事業の効率化を行うことによる削減				
	医薬品審査等業務庁費	32.0	43.9					
	保健福祉調査委託費	73.0	70.5					
計	107	117						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	麻薬・覚醒剤等の乱用を防止するための取り組みは、広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	第三次薬物乱用防止五か年戦略の目標1で、「青少年による薬物乱用の根絶及び薬物乱用を根絶する規範意識の向上」が掲げられ、関係省庁の連携の下、薬物乱用の未然防止対策を行うことになっており、厚生労働省として対応した事業である。
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	△	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	支出先の選定に当たっては、少額随意契約をしているものを除き、競争入札を原則としている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	平成23年度は東日本大震災の影響から紙代が若干上がる等したため、単位当たりの金額が上がっているところもあるが、妥当であると考えられる。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	資金の流れは、事業を行うに当たり必要最小限なものに限定されており、合理的なものであると考えられる。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	事業目的に即した適正な執行を行っている。
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	覚せい剤等撲滅啓発等委託費については、希望を受け、薬物乱用防止キャラバンカーを始めとする派遣スケジュールを組んでおり、派遣先から希望されている状況であって、薬物乱用防止についての知識の定着度が高い手段であると判断される。
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	キャラバンカーについては、23年度より、900件という派遣目標を立てることで、その目的を達するべく努力を行った結果、887カ所の訪問が実現した。その他の事業についても、あらかじめ資料の希望部数等を聴取する等、必要最小限の範囲で執行を行っている。
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
		※類似事業名とその所管部局・府省名	
○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	浸透度調査における報告については、平成24年度以降の啓発方法の改善のために活用する予定である。	
点検結果	関係省庁と連携し、各種啓発資材を効率的に配布している。中学校1年生に対する啓発資材の配布を平成22年度から廃止するとともに、キャラバンカーの効率的な使用のため、キャラバンカーの活動範囲を本州、九州、四国に限定し、北海道及び沖縄県においては、引き続き警察の薬物乱用防止広報車を紹介することとした。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	本事業は、麻薬等対策推進に必要な広報経費であるが、毎年度恒常的に不用が生じており、予算と執行の乖離の要因等を精査し、予算を縮減すること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	民間団体向け委託費について、事業の効率化を行うことによる削減 ※薬物乱用防止普及啓発推進事業費の増額要求に伴い、事業全体としては9百万円増額となっている。		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
平成22年度省内事業仕分け: 省庁横断的に麻薬対策事業を整理し、その中で厚労省が果たすべき役割を明確化しつつ、抜本的に見直し。			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	349	平成23年行政事業レビュー	317

※平成23年度実績を記入

厚生労働省
115百万円

【競争入札(総合評価落札方式)】

【随意契約】

【随意契約】

A. (財) 麻薬・覚せい剤乱用防止センター
78.4百万円
1. 薬物乱用防止キャラバンカーを活用した広報事業の実施
(キャラバンカー運転業務業者を一般競争入札(総合評価落札方式)により選定)
2. 青少年薬物乱用防止啓発事業の実施
3. 薬物乱用防止中堅指導員養成事業の実施

C. 大和総合印刷(株)
2.4百万円
外2件 計4.6百万円
麻薬・覚せい剤乱用防止運動

D. 大和総合印刷(株)
2.0百万円
外3件 計4.4百万円
「ダメ。ゼッタイ。」普及運動

【競争入札(総合評価落札方式)】

B. 日本総合サービス(株)
20百万円
薬物乱用防止キャラバンカー運転業務の実施

【一般競争入札3件、随意契約2件】

【一般競争入札】

E. (株)ジェー・ピー・エフ 11.6百万円
外4件 計20.3百万円
各種薬物乱用防止啓発読本の作成

G. (財)未来工学研究所
4.6百万円
薬物乱用防止啓発活動における浸透度調査

【随意契約2件】

F. 大和総合印刷(株)
2.2百万円
外1件 計2.8百万円
再乱用防止家族向け読本

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の 金額が支出されている者について 記載する。費目と使途の双方 で実情が分かるように記載)	A.(財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター			E.(株)ジェー・ビー・エフ		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	外部委託	日本総合サービス(株) キャラバンカー運転業務	20	その他	啓発読本の印刷	12
	雑役務費	キャラバンカー保守料	15			
	人件費	キャラバンカー運行管理業務等	14			
	旅費	キャラバンカー説明員旅費、対話 集会講師旅費、中堅指導員研修 会出席者旅費	8			
	諸謝金	キャラバンカー説明員謝金、対話 集会講師謝金、中堅指導員研修 会講師謝金	7			
	借料及び損 料	キャラバンカー車庫代、対話集会 会場借料、中堅指導員研修会会 場借料、	6			
	自動車維持 費	キャラバンカー燃料費、キャラバン カー車両消耗備品費	4			
	その他	キャラバンカー保険料、キャラバン カー自動車税、対話集会印刷製本 費、中堅指導員研修会印刷製本 費等	3			
	通信運搬費	キャラバンカー高速代、キャラバン カー電話料、対話集会通信運搬費	2			
	計		79	計		12
	B. 日本総合サービス(株)			F.大和綜合印刷(株)		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	人件費	キャラバンカー運転業務	20	その他	啓発読本の印刷	2
	計		20	計		2
	C.大和綜合印刷(株)			G.(財)未来工学研究所		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	その他	啓発資材の印刷	2	雑役務費	薬物乱用防止啓発活動における浸透度調査	5
	計		2	計		5
D.大和綜合印刷(株)						
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
その他	啓発資材の印刷	2				
計		2	計		0	

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター	1. 薬物乱用防止キャラバンカーを活用した広報事業の実施 (キャラバンカー運転業務業者を一般競争入札(総合評価落札方式)により選定) 2. 青少年薬物乱用防止啓発事業の実施 3. 薬物乱用防止中堅指導員養成事業の実施	78.4	1	97%

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本総合サービス(株)	薬物乱用キャラバンカー運転業務	20		

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	大和総合印刷(株)	麻薬・覚せい剤乱用防止運動パンフレット	2.4	随意契約	
2	(財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター	麻薬・覚せい剤乱用防止運動 B2ポスター	1.2	随意契約	
3	協新流通デベロッパー(株)	梱包・発送一式「麻薬・覚せい剤乱用防止運動用ポスター」外1件	1.0	随意契約	

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	大和総合印刷(株)	「ダメ。ゼッタイ。」普及運動趣意書	2	随意契約	
2	(財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター	「ダメ。ゼッタイ。」普及運動ポスター 外2件	1.4	随意契約	
3	協新流通デベロッパー(株)	梱包・発送一式「ダメ。ゼッタイ。」普及運動用ポスター 外1点	0.7	随意契約	
4	(財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター	デザイン制作一式(「ダメ。ゼッタイ。」普及運動リーフレット)	0.3	随意契約	

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ジェー・ビー・エフ	覚せい剤・大麻・MDMA・違法ドラッグ乱用防止読本 外1件	11.6	6	96%
2	有限会社リラックス	梱包・発送一式「覚せい剤・大麻・MDMA・違法ドラッグ乱用防止読本」外1件	3.5	3	82%
3	(株)アイネット	青少年向け薬物乱用防止読本	3.3	5	77%
4	協新流通デベロッパー(株)	梱包・発送一式「青少年向け薬物乱用防止読本」	1.0	随意契約	
4	(株)クオラス	企画・編集(青少年向け薬物乱用防止読本 外2件)	0.9	随意契約	

F.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	大和総合印刷(株)	薬物乱用防止対策用読本	2.2	随意契約	
2	協新流通デベロッパー(株)	梱包・発送一式「薬物乱用防止対策用読本」	0.6	随意契約	

G.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)未来工学研究所	薬物乱用防止啓発活動における浸透度調査	4.6	4	48%

【事業の目的】

①覚せい剤等撲滅啓発等委託費

事業の目的	麻薬・覚せい剤等の薬物乱用による危害を広く国民に周知させ、国民一人一人の認識を高めることにより、麻薬・覚せい剤等の薬物乱用の根絶を図る。
-------	--

②覚せい剤防止特別対策費

事業の目的	国連決議による「6. 26国際麻薬乱用撲滅デー」の周知を図るとともに、麻薬・覚せい剤等の薬物乱用による危害を広く国民に周知させ、国民一人一人の認識を高めることにより、麻薬・覚せい剤等の薬物乱用の根絶を図る。
-------	---

③薬物乱用防止普及啓発推進事業費

事業の目的	小学校6年生及び中学校3年生の保護者、高校生及び未成年労働者等の有職・無職少年のそれぞれの成長段階を対象とした薬物乱用防止についての啓発資料を提供することにより、青少年の薬物乱用傾向を阻止する。
-------	---

④薬物乱用啓発浸透度調査費

事業の目的	薬物乱用防止啓発活動として、成長段階に応じた啓発読本の作成・配布(小学校6年生保護者、中学1年生、高校3年生、有職無職青少年)、を行ってきたが、教育現場を対象にして、従来の読本を中心とした啓発活動の浸透度合いを調査し、今後の効果的な啓発方法・手法等を検討する。
-------	--

⑤再乱用防止対策事業費

事業の目的	薬物依存症についての正しい知識や、中毒者の家族が頼れる相談窓口、支援施設等を広く周知することにより、薬物中毒者とその家族の負担を軽減し、また、薬物中毒者に対する偏見・誤解等を解消することにより、社会全体で受け入れ、支えることができる環境を作り上げることを目的とする。
-------	---

【事業概要】

①覚せい剤等撲滅啓発等委託費

事業概要	1. 薬物乱用防止キャラバンカーを活用した広報事業 薬物乱用防止キャラバンカーを要請のあった学校等へ専門の指導員とともに派遣し、薬物乱用防止に関する正しい知識の普及を図る。 2. 青少年薬物乱用防止啓発事業 地域に根ざした啓発活動を推進するため、各地域情勢を踏まえ、地域住民が参加し、薬物問題をより身近に感じることができる小規模な集会を開催する。 3. 薬物乱用防止中堅指導員養成事業 小学校における広報活動の一環として薬物乱用防止教室の講師等を行える中堅的な指導員を養成するための効果的な研修を開催する。
------	--

②覚せい剤防止特別対策費

事業概要	毎年6月20日から1箇月間、全国各地で実施している「ダメ。ゼッタイ。」普及運動及び毎年10・11月に各ブロック単位で地区大会を開催している麻薬・覚せい剤乱用防止運動に必要なポスター、啓発読本等の啓発資料を作成して配布する。
------	---

③薬物乱用防止普及啓発推進事業費

事業概要	以下の部数を作成し、学校等に直接送付する。 ・保護者(小学6年生及び中学3年生)向け読本の配布による家庭の場の啓発読本の作成等 ・未成年労働者、児童自立支援施設入所者などの有職・無職少年への啓発読本の作成等 ・覚せい剤・大麻・MDMA・違法ドラッグに特化した啓発読本を高校3年生に配布するための啓発読本の作成等
------	--

④再乱用防止対策事業費

事業概要	薬物依存症についての正しい知識や、薬物中毒者の家族による自助活動及び中毒者の家族が頼れる相談窓口や、中毒者の治療・支援施設等を網羅的に紹介されたパンフレットを作成し、関係機関に配布する。
------	---

【活動指標及び活動実績(アウトプット)】

活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度
薬物乱用防止キャラバンカー運行管理事業	活動実績	箇所	764	792	887	—
	(当初見込み)		—	764	900	900
「ダメ。ゼッタイ。」普及運動用パンフレット等	活動実績	万部	150	155	140	140
	(当初見込み)		—	150	155	140
「ダメ。ゼッタイ。」普及運動用ポスター	活動実績	万部	13	13	12	12
	(当初見込み)		—	13	13	12
麻薬・覚せい剤乱用防止運動用パンフレット等	活動実績	万部	35	21	24	—
	(当初見込み)		—	35	21	24
麻薬・覚せい剤乱用防止運動用ポスター	活動実績	万部	6	6	6	—
	(当初見込み)		—	6	6	6
小学校の保護者への普及啓発 (全小学校6年生の保護者に薬物乱用防止啓発読本配布)	活動実績	万部	117	118	120	—
	(当初見込み)		—	118	118	120
高校生への普及啓発 (全高校3年生に薬物乱用防止啓発読本配布)	活動実績	万部	111	111	111	—
	(当初見込み)		—	111	111	111
青少年への普及啓発 (未成年労働者等の有職・無職少年が訪れる施設に薬物乱用防止啓発読本配布)	活動実績	万部	37	26	26	—
	(当初見込み)		—	—	26	26
薬物乱用防止啓発活動における浸透度調査(小学校)	活動実績	有効回答カ所数	—	—	8,744	—
	(当初見込み)		—	—	4,128	—
薬物乱用防止啓発活動における浸透度調査(高等学校)	活動実績	有効回答カ所数	—	—	2,428	—
	(当初見込み)		—	—	964	—

【単位あたりコスト】

活動指標	単位あたりコスト	単位
薬物乱用防止キャラバンカー運行管理事業	約80,312円	1箇所あたりのコスト(23年度)＝執行額(23年度)／箇所数(23年度) 80,312円＝71,237,380円／887箇所
「ダメ。ゼッタイ。」普及運動用パンフレット等	約29円	1枚あたりのコスト(23年度)＝執行額(23年度)(企画・編集、印刷、送付)／配布枚数(23年度) 0.188円＝企画・編集(262,185円)／1,398,000枚 1.491円＝リーフレット(2,084,418円)／印刷(1,398,000枚) 27.628円＝送付代金(661,282円)／送付枚数(23,935枚)
「ダメ。ゼッタイ。」普及運動用ポスター	約40円	1枚あたりのコスト(23年度)＝執行額(23年度)(企画・編集、印刷、送付)／配布枚数(23年度) 11.93円＝ポスター(B1、B2、B3)(1,429,207円)／印刷(119,800枚) 27.628円＝送付代金(661,282円)／送付枚数(23,935枚)
麻薬・覚せい剤乱用防止運動用パンフレット等	約14円	1枚あたりのコスト(23年度)＝執行額(23年度)(企画・編集、印刷、送付)／配布枚数(23年度) 10.29円＝パンフレット(2,442,732円)／印刷(237,389枚) 3.295円＝送付代金(976,440円)／送付枚数(296,306枚)
麻薬・覚せい剤乱用防止運動用ポスター	約23円	1枚あたりのコスト(23年度)＝執行額(23年度)(企画・編集、印刷、送付)／配布枚数(23年度) 19.425円＝ポスター(1,144,462円)／印刷(58,917枚) 3.295円＝送付代金(976,440円)／送付枚数(296,306枚)
小学校の保護者への普及啓発 (全小学校6年生の保護者に薬物乱用防止啓発読本配布)	約6円	1冊あたりのコスト(23年度)＝執行額(23年度)(企画・編集、印刷、送付)／配布枚数(23年度) 0.336円＝企画・編集(945,500円)／2,818,000冊 4.527円＝印刷(11,588,640円)／2,560,000冊 1.366円＝送付(3,496,500円)／2,560,000冊
高校生への普及啓発 (全高校3年生に薬物乱用防止啓発読本配布)	約6円	1冊あたりのコスト(23年度)＝執行額(23年度)(企画・編集、印刷、送付)／配布枚数(23年度) 0.336円＝企画・編集(945,500円)／2,818,000冊 4.527円＝印刷(11,588,640円)／2,560,000冊 1.366円＝送付(3,496,500円)／2,560,000冊
青少年への普及啓発 (未成年労働者等の有職・無職少年が訪れる施設に薬物乱用防止啓発読本配布)	約17円	1冊あたりのコスト(23年度)＝執行額(23年度)(企画・編集、印刷、送付)／配布枚数(23年度) 0.336円＝企画・編集(945,500円)／2,818,000冊 12.873円＝印刷(3,321,234円)／258,000冊 3.841円＝送付(991,092円)／258,000冊
薬物乱用防止啓発活動における浸透度調査	約411円	1カ所あたりのコスト(23年度)＝執行額(23年度)／有効回答カ所数(23年度) 411.184円＝4,593,750円／11,172カ所